

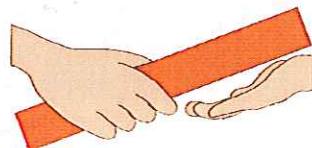
## 杉さんのひとり言

いつもお世話になってまして、ありがとうございます。

いよいよ、今年も余すところ 1 か月、師走の月となりました。寒くなってきましたが、皆さんお元気でしょうか？カレンダーも残り 1 枚となり、何だか心せわしい思いです。あと 1 か月で正月になります。今年中にしておかなければならないことが、いっぱいありそうな気がしてきます。

さて、11月23日の勤労感謝の日には、第31回目の恒例の家族慰労会をしました。これも従業員さんはもとより、家族のみなさんの支えがあればこそと、本当に感謝と敬意を表したいと思います。そして、お客様を始め、いろいろな関係先の皆様のご支持やご協力があればこそだと思います。

私の祖父が山の本を切る木挽きを始めさせてもらってから、お陰様で約 95 年ほどになります。このように細々と長く続けさせていただけるのも、本当に廻りの方々のお陰様と、改めて心より感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございます。



私事ですが、息子は 24 歳になり、奈良市の方で一条工務店という会社で、同じ建築の修業をさせてもらっています。子供の時から、私が父親に言われたことと同じように、「家のもおりと墓のもおりと商売のもおり」をしてくれと言ってきました。本人はどう思っているか分かりませんが、私も還暦になったので、早く帰郷させて、この仕事をバトンタッチしなければと思っています。

しかし、息子を見ていると、まだまだ遊びたいようで、何を考えているのか分からないのが実感です。その愚息を帰らせて、バトンタッチしたいと思っているのは、親の方だけかな？と思ってしまう時もある今日この頃です。「親の心、子知らず」ということでしょうか(笑)

今年も皆さんには、いろいろとお世話になってましてありがとうございました。気が早いですが、良い年をお迎えされることをお祈り致します。来年もよろしくお願い申し上げます。

(談 杉本 孝史)

## 編集後記

先日、車を運転していて、ふと町の掲示板に書かれたことが目に入り、考えさせてもらえる言葉あったので紹介したいと思います。そこには手書きの筆文字でこう書かれていました。

「自分の短所を知り、人に長所を学ぶ」

僕はこの言葉を読み、自分自身の成長の仕方を説いてくれる良い言葉だと感じました。自分が今後成長するためには、現状の自分におごらず、他人様には謙虚に、勉強させていただくことが大事だという僕なりの解釈です。

この短い言葉ですが、簡単に出来そうで、意外と難しい。そんな心に響く言葉だと思います。少しかたい話になりましたが、みなさんはこの言葉を読んでどう思われましたか？機会があればお聞かせください。

(談:吉岡 大)

ポチ  
住マイル

No104 H27.1.1発行

発信元:株式会社 杉建

住所:与謝野町字石川 537-3

TEL:0772-42-6955

FAX:0772-42-0501

メールアドレス:sugiken@triton.ocn.ne.jp

ホームページ:http://www.sugiken.jp/

## ～第31回目 杉建家族慰労会を行いました～

毎年恒例の家族慰労会を 11 月 23 日(勤労感謝の日)に行いました。今年は 31 回目です!! こうして長い間家族慰労会が続けてこられたのも、家族の支えがあってからです。



←料理は海のものが中心でした。新鮮なお刺身やお寿司がとても美味しかったです。

場所は、与謝野町三河内の音ステージさんで行いました。

古民家を改修された雰囲気の良いお店で、ビックリしました。



↑恒例の社長の挨拶からスタートです。食事を食べ終わってからは、みんなでカラオケ大会を楽しみました!

←参加者の年齢差は、なんと 78 歳! 岡本ジュニアが 1 歳で、石谷さんが 79 歳です。二人で一緒に遊んでいました。



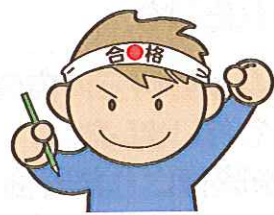
日頃は、皆さんとは、なかなかゆっくりできない為、楽しい時間になりました。また来年も楽しみます!!



## ～我が子の受験～

大工の安見和義です。  
いつもお世話になりありがとうございます。

以前は、自分には無縁だと思っていましたが、4、5年ぐらい前から肩が凝るようになり、時々マッサージに行くようになりました。マッサージに行くと、ガチガチに固まっていますねって言われます。年をとって新陳代謝が悪くなってきたのかもと思っています。



我が家には、子供が2人います。長女は4月から中学校に進学します。長男は高校に進学ですが、その前に受験をしなければなりません。口うるさく勉強しろとも言いたくないので、たまにしか言いませんが、我が子を信じて無事、第一志望の高校に合格できることを願うだけです。

(大工 安見 和義)

## ～家族の思いが届きました。～

何回か紹介をさせていただいていますが、我が家には14歳になるラフ・パールの「やまと」がいます。人間の年齢に換算すると100歳越えらしいです。



つい最近まで、食欲もあり、真新しいスリッパを破壊するなど相変わらずのいたずらぶりだったのに、先日急に様子がおかしくなり、あわてて病院へ連れて行きました。

なんせ43キロもあるので(´\_`)先生が担架に乗せてくださっての受診でした。「年齢が年齢だから何があってもおかしくないです。」との診断で、もう歩くこともできず、あの食いしん坊がご飯も顔を背けてしまいました。私はもう涙、涙…

離れて暮らす子供たちに連絡をし、祈るように伝えました。そして、主人は寝たままでも日当たりのよい場所に移動できるようにと、台車を改造してくれました。私は身体へのマッサージや声掛けをし、少しでも食べるようにと、ご飯をつくりました。

そして、数日後…なんと少しずつ食欲も戻り、少しずつですが自分で歩けるように回復してくれたのです！ もう、嬉しくて、嬉しくて、また違う涙が溢れてきました。

あとどのくらい一緒に過ごせるかは分かりませんが、この子のめくもりを感じる喜びをかみしめながら、帰宅している毎日です。

(ケア・すぎけん 井谷)

✧ 与謝野町I様 完成おめでとうございます！ ✧

## 「与謝野町I様の声」



今年の1月に工場の横へ部屋を作り、母屋の解体、造成工事。6月に建前、10月末日に完成という予定で新築工事が始まりました。長い工事期間中、社員の皆様とも顔なじみになり、色々な経験、不安、喜びを感じながら、完成の日を迎えました。

新居へ入居して、今までの暮らしとは違い、1分適度「住み心地がいいなあ」と家族で話しています。お建の皆様には完成までの期間、御世話になり、ありがとうございました。



「I様 完成おめでとうございます」

今年のお正月明けより、工事にかからせていただき、やっと待ちに待たれた完成を迎え、さぞや気疲れされたのではないのでしょうか？

引越しも終わり、ちょっと一息していらっしゃるのではないかと思います。

これから日に日に寒くなっていきますが、新しい家の快適さ、暖かさを実感して頂けると幸いです。

ご家族そろって「あったかい快適な暮らし」を満喫してください。いつも書かせていただくことですが、建物が完成して、これからが本当のお付き合いだと思っています。いつでも、何なりと、お気軽に申し付けください。今後ともよろしくお願い致します。

現場担当 森脇康二

